

評価者	市民生活部長	齋藤 和徳
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実
目標とすべきまちの姿	中小企業をはじめとする事業者が事業を継続するための支援として、経営アドバイザーの派遣や経営革新への取組に対する助成が行われ、産業が活性化しています。 また、商店街は、高齢者も利用しやすい、地域の特性を生かした商店街となり、活性化しています。 鎌倉彫の保護・育成を目的とした活動の支援や協同組合との連携による伝統工芸品の技術伝承の支援などにより、伝統工芸が伝承されています。また、事業者や組合と協働した伝統工芸の販路確保等により、売上が向上しています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	34.7%	平成30年度(2018年度)	36.9%	平成29年度(2017年度)	36.6%
	平成28年度(2016年度)	31.8%	平成27年度(2015年度)	29.3%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.6%	0.3%	0.2%
ちょうどよい	4.8%	36.3%	0.6%
効果不十分	6.2%	1.9%	7.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.5%	0.3%	0.0%
ちょうどよい	4.6%	33.4%	0.5%
効果不十分	6.8%	2.3%	7.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.5%	0.0%	0.2%
ちょうどよい	5.6%	31.5%	0.4%
効果不十分	6.7%	4.7%	6.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.6%	1.2%	0.0%
ちょうどよい	4.6%	38.9%	0.2%
効果不十分	5.5%	3.7%	5.5%

仕事の効果

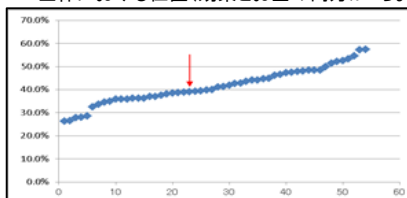
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	2.6%	0.7%	0.3%
	ちょうどよい	3.9%	39.1%	0.3%
	効果不十分	6.2%	4.4%	6.2%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	11.2%	38.4%	9.9%	40.5%
平成30年度(2018年度)	11.7%	37.0%	9.6%	41.7%
平成29年度(2017年度)	14.1%	34.4%	10.4%	41.1%
平成28年度(2016年度)	11.9%	42.3%	8.9%	36.9%
平成27年度(2015年度)	12.6%	43.2%	8.0%	36.2%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①商店街が維持管理する街路灯の電気料の負担軽減を図るため、商店街共同施設設置費補助金の補助率を平成29年度から平成31年度までの3年間は1/3から1/2に引き上げ、LED化を推進する。(市民-14)
- ②令和元年度中に市への寄附が予定されている資生堂鎌倉工場跡地の一部について、当該土地を活用する予定の事業者とともに地元への説明会を開催するなどし、産業系の土地活用を継続させることで、産業の活性化及び雇用機会の増大を図る。(市民-15)
- ③企業誘致の取組として、立地や設備投資を行う企業に対する市税の軽減や、企業情報通信業のオフィス、シェアードオフィスの設置に対する補助を行う。(市民-15)
- ④伝統鎌倉彫事業協同組合が実施する小中学生鎌倉彫体験学習事業に要する経費の一部を助成するとともに、開催に向けた支援を行い、鎌倉彫に触れる機会の創出を図るとともに、事業者や組合と協働した鎌倉彫の販路確保に向けた取組を検討する(市民-17)
- ⑤国のプレミアム付き商品券事業にあわせ、市独自のプレミアム商品券事業を実施する(市民-15)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①商店街団体が維持管理する街路灯の電気料の負担軽減を図ることで、商店街団体の活動原資を確保し、地域の特性を生かした商店街作りに寄与する。(市民-14)
- ②資生堂鎌倉工場跡地の一部について産業系の土地活用を継続させることで、産業の活性化に寄与する。(市民-15)
- ③企業を誘致し、産業を集積させることで、安定した雇用の創出、産業の活性化に寄与する。(市民-15)
- ④鎌倉彫に触れる機会を創出することで、鎌倉彫の保護・育成に寄与する。また、事業者や組合と協働した鎌倉彫の販路確保等を行い出荷額の増加を図る。(市民-17)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)		事業内容	予算規模
市民-11	商工運営事業	2,729	2,826	0.2	0.2	無	b	B
市民-12	中小企業支援事業	508,752	505,730	0.9	0.9	無	b	B
市民-13	商工会議所助成事業	14,667	14,667	0.1	0.1	無	b	B
市民-14	商店街振興事業	12,513	14,588	1.0	1.0	無	b	B
市民-15	商工業振興事業	320,720	9,078	3.2	1.2	無	a	C
市民-16	公衆浴場助成事業	400	534	0.1	0.1	無	b	B
市民-17	伝統鎌倉彫振興事業	4,409	4,435	0.3	0.3	無	b	B

**(4) 主な実施内容**

<b>【主な実施内容】</b>
①各商店街団体に対し、LED化の効果や市内実績に係る情報提供を行うとともに、LED化を計画している商店街団体を支援し、約81%の街路灯のLED化が完了した。(市民-14)
②寄附予定地である資生堂鎌倉工場跡地の一部の活用について、優先候補者と土地の活用に係る地元への説明会を1月に開催し、その後3月に寄附を受けた。(市民-15)
④伝統鎌倉彫事業協同組合が実施する小中学生鎌倉彫体験学習事業に要する経費の一部を助成するとともに、開催に向けた支援を行った。(市民-17)
⑤国のプレミアム付き商品券事業にあわせ、市独自のプレミアム商品券事業を実施した。(市民-15)
<b>【実施できなかった事業とその理由等】</b>
③商工業元気アップ事業として1者選定されたが、地域との調整や庁内の情報共有に課題があり、補助を行うことができなかった。(市民-15)

**(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	□ 適切 ■ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善
<b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各商店街団体に対し、LED化の効果や市内実績に係る情報提供を行うとともに、LED化を計画している商店街団体を支援し、約81%の街路灯のLED化が完了した。(市民-14)</li> <li>企業立地の促進については、広報がまくらへの掲載や、神奈川県企業誘致促進協議会が作成したリーフレットへの掲載等により支援施策を周知し、設備投資5件、シェアードオフィス開設2件に対する補助を行った。(市民-15)</li> <li>伝統鎌倉彫事業協同組合が実施した二時間体験教室、小学校卒業制作、子ども向け鎌倉彫Webサイト作成等に要する支援を行い、鎌倉彫に触れる機会の増加を図ったが、鎌倉彫出荷額の増加にはつながっていない。(市民-17)</li> </ul>		

**3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)**

<b>整理番号</b>	市民-14	<b>事業名</b>	商店街振興事業							
<b>指標の内容</b>	商店街団体加入率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
<b>当該指標を設定した理由</b>	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
支援対象が、商店街団体単位であるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			
	実績値	76.8	79.9	76.6	73.4	84.1	75.3			
	達成率	90.4%	94.0%	90.1%	86.4%	98.9%	88.6%			
<b>整理番号</b>	市民-15	<b>事業名</b>	商工業振興事業							
<b>指標の内容</b>	企業立地整備費等補助金による助成件数					単位	件	指標の傾向	↘	備考
<b>当該指標を設定した理由</b>	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H28は、企業活動拠点整備事業費補助金に係る助成件数		
企業立地整備費等補助金による支援状況を把握するため。	目標値	-	-	5.0	5.0	10.0	10.0			
	実績値	-	-	4.0	2.0	3.0	2.0			
	達成率	-	-	80.0%	40.0%	30.0%	20.0%			
<b>整理番号</b>	市民-17	<b>事業名</b>	伝統鎌倉彫振興事業							
<b>指標の内容</b>	鎌倉彫出荷額					単位	千円	指標の傾向	↘	備考
<b>当該指標を設定した理由</b>	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	本市で唯一の伝統工芸品産業を維持するため。		
本市で唯一の伝統工芸品産業を維持するため。	目標値	630,000	630,000	630,000	630,000	630,000	630,000			
	実績値	600,000	564,000	470,000	420,000	430,000	400,000			
	達成率	95.2%	89.5%	74.6%	66.7%	68.3%	63.5%			